

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

キャンパスアジア・プログラム
事業報告集

JAPAN

SOUTH
KOREA



立命館大学 文学部
2022年3月

CONTENTS

目次

第1部	キャンパスアジア・プログラムについて	1
	メッセージ	
	キャンパスアジア・プログラムの新しい出発	2
第2部	プログラム生の募集	5
	入学前募集	6
	学内特別選抜入試	6
第3部	コロナ禍における日中韓での学び	7
	派遣前学習	8
	立命館プログラム生の学び	11
	中韓プログラム生の学び	14
第4部	さまざまなラーニング&コミュニケーション	17
	結団式	18
	3大学オンライン公開授業	19
	学生交流会	19
	特別講義「韓国の現在と留学での学び」	20
	キャリアセミナー	20

第5部	プログラム生の進路	21
	キャンパスアジア・プログラム修了証授与	22
	3期生の進路・就職状況	24
第6部	キャンパスアジア・プログラムに関わる協議組織・運営交流	25
	キャンパスアジア・プログラム協議組織	26
	第2モードプログラム S評価	28
	第3モード始動に向けて	28
	2021年度のあゆみ	30
	プログラム生の紹介	32
	プログラム担当教職員	35

1

第1部

キャンパスアジア・ プログラムについて

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

メッセージ

■ キャンパスアジア・プログラムの新しい出発

メッセージ

■ キャンパスアジア・プログラムの新しい出発

本プログラムは2011年、2016年と2度にわたり、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」の採択を受け、10年間助成を受けてきました。11年目となる2021年度、本プログラムは第3モードにあたる「大学の世界展開力強化事業 アジア高等教育共同体（仮称）形成促進」に採択されました。来年度から、新しいプログラムとして立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラム（CAP）が生まれ変わります。これまでの10年間の実績、それを支えた日中韓300余名の参加学生たちの成長やスタッフ・関係者の努力が認められた結果だと思います。来年度からは、立命館アジア太平洋大学も新たに加わって、新しいCAPが始まります。

一方、今年度も昨年度に続いて、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は収まらず、CAPも大きな制約を受けました。春学期は送り出し・受け入れともに日中韓すべてオンラインでの留学でした。秋学期は、ようやく韓国の送り出しのみ実現することができましたが、中国への留学は変わらずオンラインで現地渡航は叶いませんでした。また中韓プログラム生の日本への受け入れも、新規留学ビザ手続きは間に合いませんでした。今年度こそは、との期待も大きかった反面、日本では第4波、第5波と続く感染者数の急速な拡大で、春学期には国内での学びや交流さえも大幅に制限されました。

そのような中でも、6期生が新たにCAPに加わり、懸命に来年度留学の準備をしました。また4期生、5期生も、それぞれの留学で精一杯に学びました。韓国組は、秋学期には大量の手続きや厳しい検疫、また2週間の完全隔離を経て、感染に十分気をつけながら東西大で現地留学を経験しました。中国組やオンライン留学組も、それぞれの学びを深めていきました。

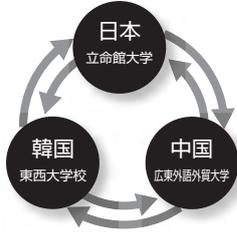
2021年度報告集は、まだまだ不安定な状況の中でがんばった、悲喜交々のCAPの記録をお届けいたします。



東アジア人文学リーダー養成のための 日中韓共同運営移動キャンパス



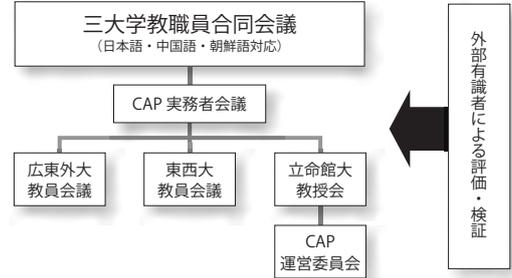
【日中韓移動キャンパス（2年間）】



【本学で学ぶ学生数】

課程	学年	日本・立命館キャンパス	
[1段階] 派遣前教育	1年次 春/秋学期	● 日A 10名 ● 日B 10名	
	[2段階] 移動キャンパス	2年次 春学期	● 中A 10名 ● 韓B 10名
		2年次 秋学期	● 韓A 10名 ● 中B 10名
[3段階] 卒業準備課程	3年次 春学期	● 中A 10名 ● 韓B 10名	
	3年次 秋学期	● 韓A 10名 ● 中B 10名	
	4年次 春/秋学期	● 日A 10名 ● 日B 10名	

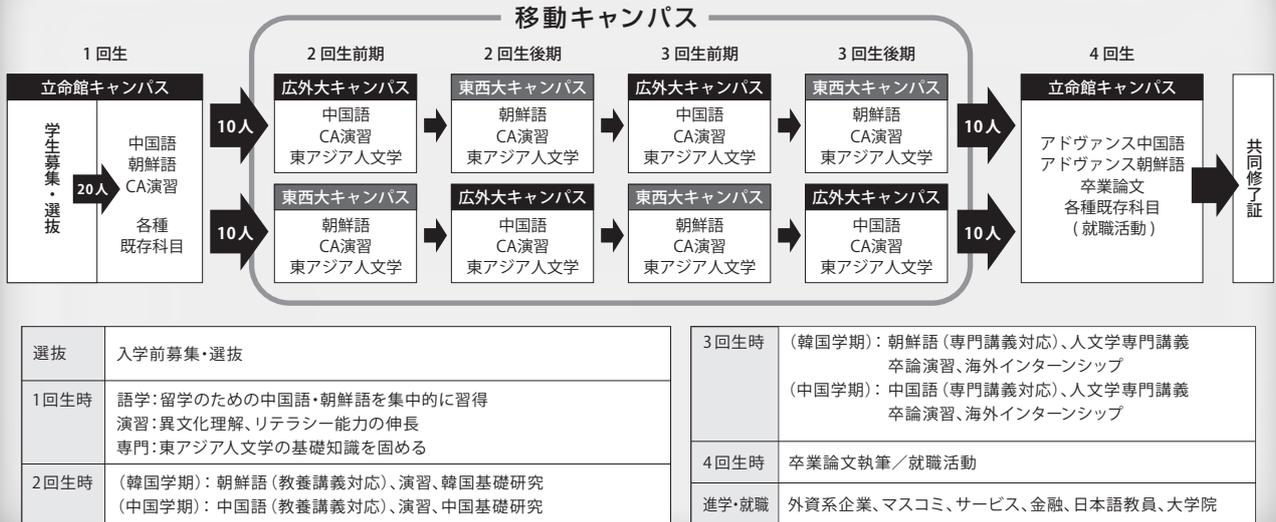
【運営体制】



【高度化したキャンパスアジア・プログラム】

- 1 交流学生数の増加
- 2 留学期間の長期化
- 3 東アジア人文学専門講義の多様化
- 4 教育効果の専門的分析と可視化
- 5 安定した運営体制下で拡大事業の評価・改善

【移動の流れ／カリキュラム】



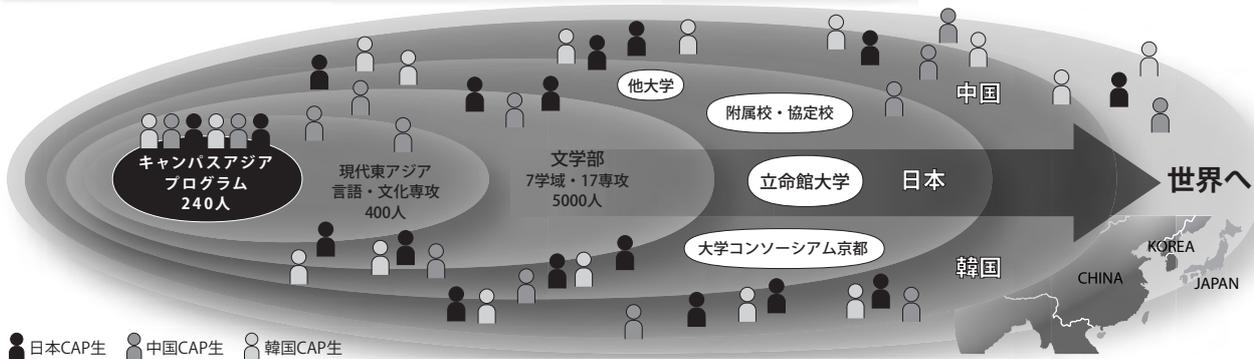
本事業の成果

【人材育成目的】

東アジア人文学リーダー

- 実践的な中国語・朝鮮語の語学力
- 多文化間調整が可能なコミュニケーション能力と判断力
- 東アジア人文学の専門的知識と分析力

多様な場で多文化協働を
率先できる人材へ



2

第2部

プログラム生の募集

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

■ 入学前募集

■ 学内特別選抜入試

入学前募集

2021年度キャンパスアジア・プログラムに参加する学生を選考するための「入学前募集」を実施しました。この募集は、立命館大学の各種入試方式で文学部に合格した学生を対象としています。入学前募集の応募期間中の2月26日(金)と3月1日(月)に募集説明会をおこないました。3月23日(火)に面接選考を実施し、19名のプログラム生を選出しました。

学内特別選抜入試

2020年度入試から開始した「学内特別選抜(キャンパスアジア)入学試験」は今年度で2回目の実施となりました。この入学試験は、立命館大学の附属高等学校を卒業する学生を対象とし、東アジアの歴史・文化・言語などに強い関心を持ち、プログラムの留学を通じて東アジアを中心とする海外での積極的な学びを強く志向する学生を選抜しています。2021年度は1名が合格しました。

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

キャンパスアジア・プログラム

入学前募集選考について

入学前に必ず応募しよう!

01 応募・審査の流れ

キャンパスアジア・プログラムに参加するには、入学前に応募し、審査に通過する必要があります。募集要項・応募書式は、立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラムのホームページからダウンロードして下さい。

2020	2021	2021	2021	2021
11月2日 [月]	2月17日 [水] → 3月8日 [月] 必着	2月26日 [金]・3月1日 [月]	3月23日 [火] (予備日: 3月24日 [水])	3月26日 [金]
立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラムホームページにて、「2021年度立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラム」の募集要項・応募書式をダウンロードして下さい。	応募書類を立命館大学文学部キャンパスアジア事務局に郵送	入学前募集説明会(詳細を募集要項に記載)について2021年2月上旬後半キャンパスアジア・プログラムのホームページに掲載します。	面接審査実施	合格発表

02 募集概要

応募資格	2021年度立命館大学入学試験に合格し、文学部への入学意志を持つ者。 *ただし、国際コミュニケーション学域入学予定者、および以下の入試方式での合格者は応募できません。 後継方式/センター試験方式後継型/文化・芸術選抜に優れた者の特別選抜入試試験/スポーツ能力に優れた者の特別選抜入試試験/外国人留学生入試試験(前期試験・後期試験)/外国人留学生推薦入試試験(日本語学科)/海外推薦入試試験
募集人数	20名

03 応募する上での留意点

(1) このプログラムの参加許可者は、原則、外国語科目の選択は、中国語・朝鮮語の高言語を選択していただきます。

(2) このプログラムの参加許可者には、1回生時に、文学部履修科目に加えて、派遣前教育として、中国語・朝鮮語をはじめとするキャンパスアジア用の授業を受講登録し、履修していただきます。

(3) 人間研究学域に入学予定の方は、所属する専攻科について注意する点がありますので、募集要項で詳細を確認してください。

詳細情報は、立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラムのホームページ「受験生の皆様へ」ページの「2021年度立命館大学文学部キャンパスアジア・プログラム【入学前募集】参加者募集要項」に掲載していますので、必ずご確認ください。

<http://www.ritsumei.ac.jp/campusasia/>

立命館大学 文学部
キャンパスアジア・プログラム

한국
東西大学校

한중일을 가로지르며, 동아시아의 미래를 열어가자!

日本
立命館大学

日中韓を飛び回り、東アジアの未来を切り拓こう!

中国
広東外語外資大学

跨越中日韩三国, 开创东亚的未来!

CAMPUS ASIA

PROGRAM

参加者募集案内

2021年度入学前募集選考について

6

3

第3部

コロナ禍における 日中韓での学び

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

■ 派遣前学習

■ 立命館プログラム生の学び

■ 中韓プログラム生の学び

派遣前学習

キャンパスアジア履修ガイダンス

今年度は、新型コロナウイルス感染症が比較的落ち着いていた4月に、キャンパスアジア・プログラム新入生（6期生）を対象とする履修ガイダンスを対面形式で開催することができました。キャンパスアジア・プログラム教職員との顔合わせに始まり、大学4年間の履修やプログラム独自の授業について説明をおこないました。

6期生は初めて全員が対面で集まり、プログラムを共修していく仲間との交流の場にもなりました。ガイダンス時には多くの学生から質問が寄せられ、プログラム生として今後の履修に向けた意欲がうかがえました。

共同研究室ガイダンス

2020年度末に啓明館へ移転したキャンパスアジア共同研究室のガイダンスを6期生向けに開催しました。新しい共同研究室は、プログラム生以外も使用できる国際コモンズ部分とプログラム生専用の研究室部分とに分かれており、今後、中韓のプログラム生が来日した際にはプログラムの垣根を超えた活発な交流が期待されています。

ガイダンスでは、研究室の利用ルールや各種機器の使用方法などについて説明をおこない、共同研究室の積極的な利用を促しました。



移動キャンパス手続きガイダンス

11月8日（月）に移動キャンパス手続きガイダンスを開催しました。学生たちは、来年度以降の各大学の入学手続きやビザ発行手続き、奨学金の申請手続きなど、移動キャンパスに必要な手続きと今後のスケジュールの説明を受けました。来年度の現地渡航は未定であったものの、プログラムの主軸である移動キャンパスに向けて着実に準備をすすめるためのスタートとなりました。

キャンパスアジア演習Ⅰ

春学期におこなわれた「キャンパスアジア演習Ⅰ」は本プログラムの初年次教育の核として位置付けられており、春学期は、プログラムの内容理解、協働学習の意義、中国・広州、韓国・釜山の概略に加え、聞き取り調査の模擬実習もおこなわれました。そのほか、東アジアに関するグループワーク、オンラインを通じた中韓プログラム生との交流の時間を持ち、2年次以降の移動キャンパスへの意欲を高めました。

キャンパスアジア演習Ⅱ

秋学期におこなわれた「キャンパスアジア演習Ⅱ」は、日中韓の歴史教科書の比較・考察、中韓の歴史・文化・社会に関する個人報告、海外生活で必要となる異文化理解力に関する特別講義の受講をおこなわれました。また次年度からの移動キャンパスに向けて、海外からでも利用できる学術情報検索の方法に触れるなど、海外での学びに備えています。



外国語履修科目

プログラム生は次年度からの留学に備えるため、必修外国語科目に加えてプログラム専用の中国語・朝鮮語科目を履修しています。初修・既修クラスにわかれ、ネイティブ教員・日本人教員の連携のもと、個々の能力にあわせた言語の習得に努めています。中国語・朝鮮語ともに、初修クラスでは発音や文法の基礎固めを重点的におこない、既修クラスでは動画や記事など、より実践的な内容を含む資料を用いた読解や聴解などのインプット活動、それをふまえた議論や発表などのアウトプット活動もおこなっています。また、プログラム生は1年次に、漢語水平考試（HSK）、韓国語能力試験（TOPIK）などの検定試験において中級合格が求められており、外国語履修科目において、その基盤づくりに努めています。

CAP Language Café

本学プログラム1年生の語学学習補助、中韓プログラム生などとの交流機会の提供を目的として、「CAP Language Café」を運営しています。具体的には、CAP教員による語学学習オフィスアワーを設定して質問受付などをおこない、また中韓プログラム生や修了生との交流会もおこなわれました。中韓プログラム生が来日できない中で、オンラインによる交流や中韓修了生との交流は、語学を学習するモチベーションにつながりました。



立命館プログラム生の学び

広東外語外貿大学・東西大学校のオンライン授業

新型コロナウイルス感染症の影響によって、春学期は渡航を断念することになり、広東外語外貿大学・東西大学校の授業がすべてオンラインでの実施となりました。現地渡航ができない中であっても、各国の言語でおこなわれる授業を通して、東アジアの人文学に関わる知識および知見を習得し、キャンパスアジアの学びを継続することができました。

秋学期、広東外語外貿大学は引き続きオンライン授業が実施され、韓国への現地渡航を選択しなかった学生も東西大学校が提供するオンライン授業を受講しました。学生たちは、中韓のプログラム生とともに学び議論することで、現地での留学同様に多様な価値観に触れ、相互理解に基づく多角的な思考方式を身に付けるとともに、各国プログラム生との交流を深めました。

東西大学校への現地渡航

秋学期に韓国への現地渡航が実現し、渡航に関わる諸手続、韓国での2週間にわたる学生寮での待機期間を経て、本学プログラム生14名は東西大学校での学びを開始しました。東西大では、授業以外にも感染予防を施したうえでの日帰りプチ旅行や、サークル活動、ランゲージ・エクステンジ、CAP文化フェスティバルなど、さまざまな交流機会やイベントが準備され、学生たちは制約が多いなかでも留学生生活を満喫しました。



また11月29日（月）には本学2年生3名がソウルで開催された日韓ジュニアフォーラムに参加し、日韓学生による東アジアの懸案事項をめぐる討論をおこないました。うち1名がジュニアフォーラム代表として12月3日（金）の日韓・韓日フォーラムで学生発表をおこないました。

日韓ジュニアフォーラム報告書

日韓ジュニアフォーラムは、今回で第29回となる日韓フォーラムのサブイベントとして2015年から開催されるようになった。私たちが参加した第7回日韓ジュニアフォーラムの討論のテーマは、「2030世代が考える日韓関係の突破口」である。2021年11月29日の午後から韓国ソウル市明洞のコミュニティハウスマシルで行われ、日韓の大学生・大学院生計19名（日本学生9名・韓国学生10名）が参加した。私たちは、東西大学の先生からの推薦を受け、このフォーラムに参加することとなった。最初の一時間は二つの小グループに分かれて討論をし、その後一時間は参加学生全員が集まり、それぞれのグループが話し合ったことについて報告し、さらに議論を深めた。そして最後の一時間では、前の討論の内容をまとめつつ、12月3日に行われる日韓フォーラムで代表学生が発表する報告文を作成した。討論は全て韓国語で行われた。

現在新型コロナウイルスの流行により、直接的な日韓交流が困難な状況となっている。そのような中で開催された日韓ジュニアフォーラムに参加し、日韓の学生たちがお互いの顔を直接見て意見を交わす貴重な機会に同席できたことがまずありがたかった。私自身東アジア、日韓関係に強い関心を持っているが、昨今の日韓両国間の問題解決の糸口を見いだせないでいる。今回ジュニアフォーラムでは、若い世代ならではの、たくさんの率直な意見が日韓双方の学生から出された。日韓関係の改善を真剣に願う仲間が日韓双方にこんなにもいることを強く認識し、頼もしく感じた。近い将来日韓関係の問題に深く関わっていくかもしれない日韓双方の学生が、真剣に日韓関係の改善を願う、そして討議しあう、これこそまさに日韓関係の未来への希望だと思う。若い世代だからこそその柔軟な立場や意外な発想の可能性を、今回強く感じさせられた。ジュニアフォーラムのような、若者が日韓関係の第一線を学べる場が今後も継続的に設けられ、これからの日韓関係の架け橋の一つとして機能していくことを期待したいと思った。

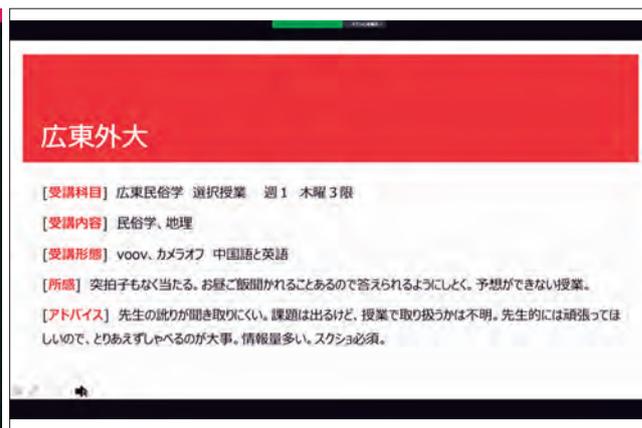
今回のフォーラムは、討論だけでなく、日韓のジュニア世代間の交流ができたという面でも貴重な経験だった。東西大学校での留学だけでは出会うことのなかったであろう他大学の韓国人学生と出会い、交流できる良い機会になった。またフォーラムに参加していた他の日本人学生たちは皆韓国語のレベルが非常に高く、自分の韓国語はまだ足りないということを痛感させられ、韓国語の勉強のモチベーションに繋がった。日韓の問題に関心を持ち、積極的に意見を交換したいという強い気持ちのある学生たちの話を聞くことで、新しい世界を垣間見ることができた気がした。もし今後このフォーラムに参加するように勧められた学生がいれば、ぜひ参加をすすめたと思う。

(本学プログラム生2年生)



人文学演習 I～IV

オンラインまたは現地での留学を通じた学びに加え、学術的な分析、研究方法など専門的な学びを補完するため、留学先の授業期間外を中心に受講しました。2年次は主に、資料の収集や調査の方法に関する学びを通じ、今後の個別テーマ設定の基礎を固めました。一方、3年次は卒業論文の執筆を念頭に、個別テーマにもとづく調査・分析、ディスカッション、個人発表などをおこないました。また、演習Ⅲでは、7月22日（木）にプログラム修了生による就職活動の経験や企業での就業経験を聞く機会を設け、プログラムでの学びとキャリア形成とのつながりの具体例に触れることができました。



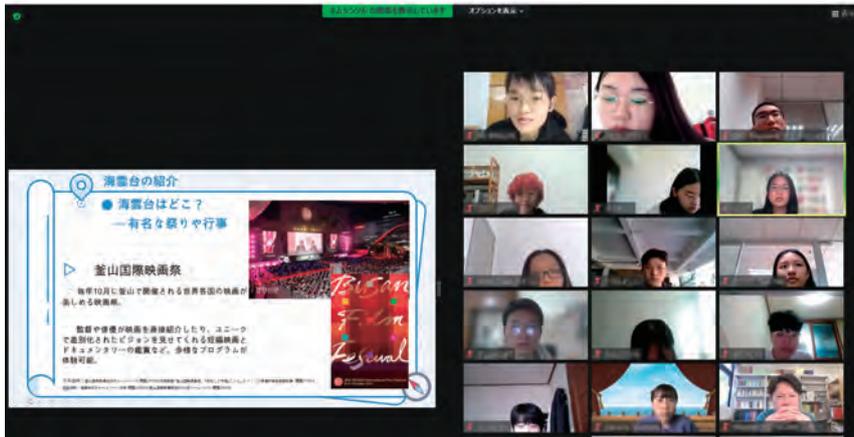
中韓プログラム生の学び

履修ガイダンス

新型コロナウイルス感染症の影響により、中韓プログラム生の来日は、春・秋学期を通して中止を余儀なくされましたが、必修科目であるCAP専門科目と日本語の授業は無論、選択科目である教養科目・文学部専門科目をすべてオンラインで提供することで、中韓プログラム生の学びを充実させました。履修ガイダンスは春学期は3月24日（水）に、秋学期は8月2日（月）に昨年に引き続きオンラインで実施し、中韓プログラム生の学びをサポートしました。

キャンパスアジア演習Ⅲ・Ⅳ

キャンパスアジア演習は、本プログラムの中核科目であり、プログラム生は人文学的な研究方法を学ぶとともに、東アジアの諸問題についての研究発表をおこなっています。演習Ⅲ（2年次）では日本語研究文献・資料の探し方や文献リテラシーを身に付け、演習Ⅳ（3年次）では論文講読、研究発表をおこなうなど、卒業論文執筆に必要な研究スキルを段階的に養っています。学生の発表テーマは、「日中韓の同性婚に関する法制度比較とLGBTに関する意識の比較」、「脱炭素化に向けた日中韓の努力」、「日中韓三カ国における少年法と少年犯罪」、「国際移民—日中韓における政府の政策と民衆の意見」など多岐にわたっており、授業では活発な議論が展開されています。



R 中国における同性愛に対する意識

年齢	70后① (n=188)	80后② (n=223)	90后③ (n=225)	F	P
ATL总分	27.91±6.14	27.25±6.23	26.49±6.37	2.644	0.078
2.在任何情况下,女同性恋者在就业方面都不应该受到歧视	2.60±0.96	2.51±0.99	2.28±1.02	5.852	0.003** ①,②>③
ATG总分	34.17±6.35	33.66±6.37	32.66±6.41	3.044	0.048* ①>③
13. 不应该允许男同性恋者从事教师职业	3.27±1.06	3.19±1.01	3.02±1.10	3.068	0.047* ①>③
20. 男同性恋只是一种不同的生活方式,不应该受到谴责	3.00±0.94	2.88±0.98	2.71±0.91	4.835	0.008** ①,②>③
ATLG总分	62.08±12.09	60.91±11.67	59.15±12.18	3.157	0.048* ①>③

↓ 消極的な態度

- ATL 50代・40代>=30代>=20代
- ATG 50代・40代>30代>20代
- ATLG 50代・40代>30代>20代

→ ATLG>ATG>ATL

Beyond Borders

- ATL → 女性の同性愛者に対する態度
- ATG → 男性の同性愛者に対する態度
- ATLG → 両性愛者に対する態度
- 20点~60点 → 積極(賛成)
- 60点 → 中立
- 60点~100点 → 消極(反対)

キャンパスアジア日本研究 I～IV

日本の歴史・文化・文学・地域・社会を学ぶ専門科目で、I・IIを中韓2年生、III・IVを中韓3年生が履修します。I・IIでは東アジアのなかでの日本の歴史の歩みや、京都や関西の文化・観光資源調査に基づいたWEBサイト作成、中国・韓国における海外神社、日本軍施設、日本式家屋に関する調査などをおこない、過去から現在にいたる歴史や文化について理解を深めました。III・IVでは日中韓の近現代史教科書の比較と討論、加藤周一『日本文学史序説』やベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』の輪読をおこない、ナショナリズムや国民国家を越える批判的思考力を養いました。また、IVはコンソーシアム京都科目として開放しており、他大学の学生とともに学ぶ機会となっています。

<p>釜山水晶洞日本式家屋</p> <p>釜山水晶洞日本式家屋(貞蘭閣)</p>  <ul style="list-style-type: none"> 釜山は補町でありながら、地理的にも近いので日本による植民地時代日本人が多く住んでいた都市 釜山港に近い水晶洞にある貞蘭閣 	<p>旅日華僑様の周りの建物</p>  <p>日本楼 (旅日華僑楼)</p> <p>左側 右側</p>
<p>広東神社</p> <ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦中、日本が中国を侵略し始めてから、日本の海外移民も増えてきた。 その人達が移住するにつれて、国家神道の基礎と支柱として、神社は海外にも拡張されていった。 統計によると、日本はかつて中国各地に数百社の神社を建てたことがあり、その中には広州も含まれていた。広州の神社は省の名をとったもので、当時は「広東神社」と呼ばれていた。  <p><small>http://ml.nippon.kita-u.ac.jp/2012-07-17/13296992.html https://www.kohsu.com/a/18-85939/1_100343470_2021/11/20/閲覧</small></p>	<p>今の外洋浦一日本軍砲陣地</p>  <p>現在の軍浦陣地は花が植えられ、観光地となって多くの人々が訪れている。</p> <p>■ 調査をしてから感じたこと、学んだことは？</p> <p>侵略と弾圧の歴史だが、未来世代のための貴重な歴史資源になり得るし、保全と研究価値が高い。</p> <p>侵略の歴史を無条件になくす方法ばかりではないということも学ぶようになった。</p> <p><small>写真提供: http://blog.naver.com/djjaemilki/21/1102468</small></p>

日本語履修科目

中韓プログラム生の日本語運用力を高めるために、「会話・作文(文章表現)・聴解・読解」の4領域と時事・ビジネス日本語の科目を設置しています。今年度もオンラインを通じた授業となりましたが、各自の習熟度にあわせたクラスで、多様なアクティビティを通じた学びを続けています。また、本学国際コモンズ(Beyond Borders Plaza)のコミュニケーションルームやTAとの補充学習などを通じて、正課外での日本語使用時間を最大限確保し、実践的な語学力を身に付けています。

4

第4部

さまざまなラーニング& コミュニケーション

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

- 結団式
- 3大学オンライン公開授業
- 学生交流会
- 特別講義「韓国の現在と留学での学び」
- キャリアセミナー

結団式

11月18日（木）、日中韓三カ国のプログラム1年生がオンラインにて集い、「キャンパスアジア・プログラム結団式」をおこないました。日中韓の6期生は、それまで学んだ語学力を活かし、母語以外で自己紹介をおこなうとともに、各大学の学生2名ずつが代表スピーチをおこない、春から実施される移動キャンパスへの期待と抱負を話しました。結団式は、今後ともに学ぶことになる自国以外の学生との初めての顔合わせであり、1年次の学習に対してよい刺激となりました。



3大学オンライン公開授業

今年度は日中韓3大学の3年次用授業を一部公開し、日中韓プログラム生が合同で参加できる場を設けました。本学からは「キャンパスアジア演習Ⅳ」（5月10日（月）・17日（月）・24日（月）・31日（月））、東西大からは「東アジア地域セミナー」（5月4日（火）・11日（火）・18日（火）・25日（火）、6月1日（火））、広東外大からは「異文化理解・異文化コミュニケーション」（5月12日（水）・19日（水）・26日（水）、6月2日（水））がオンライン提供され、日中韓を中心とする東アジアに関わる講義やグループ発表がおこなわれました。普段は参加することのできない現地授業に参加できる、オンラインならではの企画となり、とりわけ1年生にとっては各大学での移動キャンパスでの学びを実体験できる機会となりました。

2021春 semester 立命館CAP公開授業
キャンパスアジア演習Ⅳ

日にち	時間	授業形態
5月10日(月)	16:20~17:50(日本時間)	ZOOM
5月17日(月)	16:20~17:50(日本時間)	ZOOM
5月24日(月)	16:20~17:50(日本時間)	ZOOM
5月31日(月)	16:20~17:50(日本時間)	ZOOM

Let's Study Together
論文講読報告 (グループ)
授業はすべて日本語で実施
事前に必ず講読論文を読んでください
日程ごとの講読論文は裏面に記載

ZOOMミーティングID
982 282 282

공개수업
5.4(화) - 6.1(화) / 16시 - 18시 (한국시간)

1차시	2차시
5.4 수업명 <중국어> 중국 유람선 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <중국어> 5월 4일 16시 18시	5.4 수업명 <한국어> <한글> 2019년 2학기 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <한국어> 5월 4일 16시 18시
5.11 수업명 <중국어> 중국 유람선 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <중국어> 5월 11일 16시 18시	5.11 수업명 <한국어> <한글> 2019년 2학기 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <한국어> 5월 11일 16시 18시
5.18 수업명 <중국어> 중국 유람선 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <중국어> 5월 18일 16시 18시	5.18 수업명 <한국어> <한글> 2019년 2학기 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <한국어> 5월 18일 16시 18시
5.25 수업명 <중국어> 중국 유람선 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <중국어> 5월 25일 16시 18시	5.25 수업명 <한국어> <한글> 2019년 2학기 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <한국어> 5월 25일 16시 18시
6.1 수업명 <중국어> 중국 유람선 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <중국어> 6월 1일 16시 18시	6.1 수업명 <한국어> <한글> 2019년 2학기 강연자 조희정(중국 2019년 2학기) 과주제명 <한국어> 6월 1일 16시 18시

5.4 / 5.18 / 6.1
5.11 / 5.25

課程内容

5月12日: 導入+漢文講解+總結
 教学内容: 礼教与礼仪
 教学目标: 通过认知中国式普遍的礼教行为, 讨论如何避免异文化冲突误区。
 专业拓展: 主题小组发表

5月19日: 導入+漢文講解+總結
 教学内容: 家庭与夫妻关系
 教学目标: 通过讨论中日韩社会的家庭关系, 呈现当下中日韩社会男女平等问题的集中体现。
 专业拓展: 主题发表

5月26日: 導入+漢文講解+總結
 教学内容: 餐饮文化和饭局
 教学目标: 认知饭局在中国社会构建人际关系中产生的促进作用, 了解“饭局”的基本礼仪与习惯。
 专业拓展: 主题小组发表

6月02日: 導入+漢文講解+總結
 教学内容: 颜色、数字和文化
 教学目标: 讨论中日韩民族分别对颜色和数字的喜好和忌讳, 分析其产生的历史原因。
 专业拓展: 主题发表

学生交流会

3大学CAPオンライン学生交流会

6月17日（木）にCAP日中韓オンライン学生交流会（本学CAP 1年生と中韓CAP 2年生）を開催し、なぞなぞ大会やグループトークで交流しました。さらに、オンライン留学中の本学CAP 2年生から中韓での学びの経験を聞くオンラインイベントを開催し（6月15日（火）、7月1日（火））、新入生たちは移動キャンパスのイメージを具体化することができました。

立命館宇治高等学校と中韓学生のオンライン交流会

昨年度に引き続き、1月24日（月）に立命館宇治高等学校の高校生と中韓プログラム生との交流会をオンラインにておこないました。中韓2年生16名（中国11名、韓国5名）と高校生17名が参加し、中韓学生は広州や釜山などについて発表し、高校生は日本の高校生活について話しました。また、クイズ大会や、少人数に分かれてのグループトークなどで交流を深めました。普段は身近に話すことのない高校生との交流は、双方にとって授業では得られない貴重な体験となりました。

特別講義「韓国現在の現状と留学での学び」

7月27日（火）に韓国・延世大の沈熙燦先生をお招きし、特別講義「韓国現在の現状と留学での学び」をオン・オフラインのハイブリッドで開催しました。秋学期からの韓国渡航を直前に控えた本学プログラム生はもちろんのこと、プログラム1年生や中国オンライン組の学生も参加しました。講義では、コロナ禍で日韓を行き来した経験をもとにした韓国の新型コロナウイルス感染拡大状況、渡航時の注意点、大学での生活などに加え、オンライン留学と実渡航による留学の長所短所についてもお話いただきました。質疑応答も活発におこなわれ、オン・オフライン問わず留学を控えた学生にとって有意義な時間となりました。

キャリアセミナー

本学プログラム3年生は7月26日（月）にキャリアセミナーを受講しました。まず本学キャリアセンター職員から近年の就職活動に関する概況と、留学を含めた本プログラムでの学びの活かし方について、説明を受けました。その後、就職活動を終えたプログラム4年生による身近な体験談を通じ、志望する業種および企業を決めた際の経緯や考え方についての具体例に触れ、自己のキャリア形成について具体的に考える貴重な機会を得ることができました。

5

第5部

プログラム生の進路

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

■ キャンパスアジア・プログラム修了証授与

■ 3期生の進路・就職状況

キャンパスアジア・プログラム修了証授与

キャンパスアジア・プログラムで学び、3大学教授会で修了が認定された学生には、3大学が共同で発行するプログラム修了証が授与されます。修了認定には、2年間の移動キャンパスを完遂すること、卒業論文のサマリーを日中韓3カ国語で作成することなどが義務付けられており、キャンパスアジア・プログラムの学びを大成させることが求められます。2021年度に認定された修了生のリスト、および修了生が提出した卒業論文のタイトルは以下の通りです。

立命館大学の修了生

①2022冬認定（2022年3月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
栗田 真以	3	私教育からみる学歴主義的社会イメージ
安藤 映空	3	中国の映画興行収入ランキングに見るハリウッド映画
入江 有	3	中国における赤の存在
江口 愛歩	3	孫悟空の衣装・メイク・小道具の成り立ち～日中の共通点と相違点を考える～
尾崎 夏菜	3	麗江ナシ族の民族衣装の変化
芝 華名	3	「30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい」に対する台湾人視聴者の意識分析
高橋 璃子	3	日本韓国の化粧品産業の変遷と事業戦略—アモーレパシフィックのケースを中心に—
中埜麻奈莉	3	麻生豊と『ノンキナトウサン』が伝えたかった世界
西本 妙枝	3	外国語学習者と動機づけ—どうして言語学習を選択したのか—
播磨 美有	3	中華人民共和国において障害者の生きやすい社会を浸透させるには—表現活動を中心に—
平岡帆乃佳	3	公正観光を基にした中国人のための新しい日本観光
外薊 佑有	3	日本の新聞による北朝鮮報道—読売新聞と朝日新聞記事の比較分析を通して—
細井 遥香	3	なぜリメイクドラマは制作されるのか—日中韓における『花より男子』の分析から—
松井 眞叶	3	陳嘉庚の教育事業と家族意識

広東外語外貿大学の修了生

①2021秋認定（2021年6月卒業）

氏名	期	卒業論文のタイトル
张慧婷	3	中日韩三国信息无障碍化现状比较研究
黎争妍	3	20世纪初中国知识分子和日韩的联系---以李大钊为中心
廖文慧	3	汉字对于改写简明日语的影响——比较汉字圈学习者与非汉字圈学习者
李翊旋	3	中日两国之间的低欲望现象比较：以流行语“佛系青年”和“无欲世代”为例
谢卓然	3	西方视角下对中国和日本印象的变化——以《江城》和《Letters of a Japanese Schoolboy》的比较为中心
吴可菲	3	中日韩女性高等教育的比较研究
贾天悦	3	中日韩三国智慧养老产业发展的比较研究
黄林悦	3	关于日本城市吉祥物对推动城市经济效果的研究-以熊本县为中心，为中国城市吉祥物发展提供建议-
黎轩彤	3	现代日语汉字音读“Xツ”形态的音韵来源及形成过程
周付安	3	中日韩农业无人机的现状和展望
陈楚森	3	江戸时代中国文人画の受容と日本南画の独立性—以池大雅为中心
孙莉	3	中日韩便利店行业发展的比较研究

氏名	期	卒業論文のタイトル
陈诗瑶	3	中日韩三国女性晚婚化现象的对比研究—从“剩女”“败犬”“黄金小姐”的使用看
方斯茵	3	中日韩三国偶像养成真人秀节目产业模式的比较研究——以《PRODUCE 101》系列为例
陈佳玮	3	传统建筑的再生与活用
黄可晨	3	中日韩电视剧中30岁以上女性形象分析—以现代都市女性主人公为中心
段东玉	3	基于目的论的《风又三郎》汉译本比较研究
陈贻俊	3	新冠疫情下日本援助中国的原因——以日本政府为中心

②2021秋認定 (2021年7月卒業)

氏名	期	卒業論文のタイトル
徐阳	3	中国二次元游戏发展研究——基于中日对比探究中国二次元游戏的创新

東西大学校の修了生

①2021秋認定 (2021年8月卒業)

氏名	期	卒業論文のタイトル
조수민	2	유교와 에코페미니즘의 이론적 융합 가능성
방혜림	2	한일중 CAMPUS Asia 프로그램에 대한 고찰

②2021冬認定 (2022年2月卒業)

氏名	期	卒業論文のタイトル
김미소	2	K POP과 한일중 팬덤문화
박연우	2	한국 키덜트산업의 문화현상과 전망 헬로키티 마케팅 전략과의 비교를 중심으로
김도연	3	한·중·일 결제방식의 차이와 결제 산업의 발전 동향
문혜민	3	한일 조상송배 사상의 비교고찰
소현지	3	부산의 오버투어리즘 (Overtourism) 현상과 대응책에 대한 고찰—일본 교토의 사례와의 비교를 중심으로—
신수진	3	한국과 일본의 신식민주의 구축

3期生の進路・就職状況

本学3期生の就職先は、コロナ禍ということもあり国内企業が中心となりましたが、職種は多岐に涉っています（具体的な業種は以下の表を参照）。キャンパスアジア・プログラムの経験を活かして、国内外において活躍することが期待されます。また、大学院進学や他地域への留学など、キャンパスアジア・プログラムでの学びを発展させることを希望する学生もみられました。なお、中韓プログラム生もそれぞれの国内での就職だけでなく、日本をはじめとする海外の大学院への進学を希望するなど、東アジアから世界へ羽ばたく学生もみられました。

業種	人数
商社	2
製造業	2
学術研究, 専門・技術サービス業	2
卸売業, 小売業	1
運輸業, 郵便業	1
情報通信業	1
サービス業(他に分類されないもの)	1
メーカー	1
大学院進学	2
留学	1

立命館大学21年度修了生14名の実績

6

第6部

キャンパスアジア・ プログラムに関わる 協議組織・運営交流

CAMPUS ASIA PROGRAM 2021

- キャンパスアジア・プログラム協議組織
- 第2モードプログラム S評価
- 第3モード始動に向けて
- 2021年度のあゆみ
- プログラム生の紹介
- プログラム担当教職員

キャンパスアジア・プログラム協議組織

臨時4大学教職員合同会議・4大学合同会議・実務者会議

プログラムを運営するにあたり、協定校とさまざまな事項を協議する場として、3ヵ国間の教職員合同会議を設置しています。2022年度より立命館アジア太平洋大学（APU）を新たなメンバーとしてキャンパスアジアのコンソーシアムに迎えることから、6月11日（金）に臨時4大学教職員合同会議がオンラインで開かれ、2022年度からのプログラム運営について4大学間合意形成について確認しました。また12月17日（金）には4大学合同会議・実務者会議が開催されました。



キャンパスアジア教授会

キャンパスアジア教授会を9月28日（火）にオンラインで開催しました。教授会には3大学のプログラム担当教員が出席し、新規修了生の認定及び、各国・各大学の現状の共有、授業内容の確認・調整など、プログラムの質的向上に向けた議論を重ねました。また、2022年度からのプログラム運営に関する追加の会議として、6月28日（月）に3大学教員会議をオンラインで開催し、新しいキャンパスアジア・プログラムについての意見交換をおこないました。また、2月25日（金）には、キャンパスアジア教授会で、修了認定をおこなうとともに、次年度以降の新プログラムの教学について議論しました。

キャンパスアジア運営委員会、キャンパスアジア・プログラム事務局会議

本学文学部では、本事業に関わる意思決定の場として「キャンパスアジア運営委員会」を設置し、本事業の運営に関わる事項についての検討と承認をおこなっています。2021年度は、運営委員会に代わるものとして、プログラム生の韓国派遣や受入生に関して文学部執行部への相談を随時おこなってきました。また、キャンパスアジア担当教職員による「キャンパスアジア・プログラム事務局会議」を月1～2回開き、日常的な実務運営を円滑におこなうための協議を定期的におこなっています。

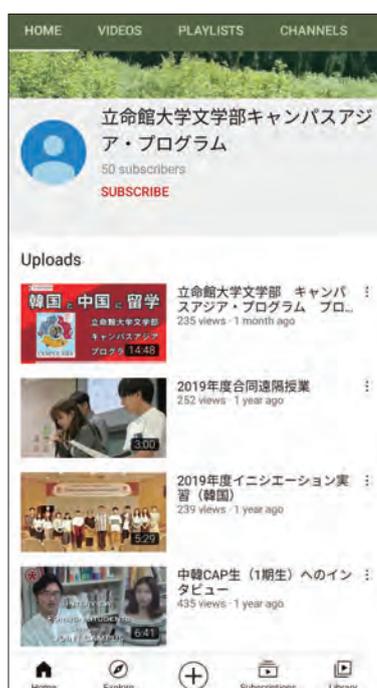
広報

キャンパスアジア・プログラムウェブサイト (www.ritsumei.ac.jp/campusasia/) では、本プログラムに関する基本的な情報に加えて、動画やブログを始め、プログラムで創りだされたさまざまな成果を発信するコンテンツを公開しています。また、公式Instagram ([ritsumei_campus_asia](https://www.instagram.com/ritsumei_campus_asia)) では、日常的な授業や活動、留学中の様子などについても随時発信しています。

キャンパスアジア・プログラムウェブサイト



キャンパスアジア・プログラム公式YouTube



キャンパスアジア・プログラム公式Instagram



第2モードプログラム S評価

文部科学省「大学の世界展開力強化事業」（タイプA：平成28年度採択分）の最終評価において、本学のプログラムが私立大学唯一のS評価（最高評価）を獲得しました。高く評価された点としては、プログラム生の倍増、受講可能科目の拡充、施設や交流プログラムの充実化などのパイロットプログラムからの新展開や、各会議の綿密な運営、3大学共通の質保証体制を整備してきたことが挙げられます。

また、コロナ禍においても「現地の学び」を可能とするため、単位授与・認定を伴うオンライン留学を実現させたことも特記されています。

第3モード始動に向けて

2022年度から始まる新生キャンパスアジア・プログラムは、立命館大学・東西大学校・広東外語外貿大学に、新たに立命館アジア太平洋大学が加わり、4大学共同運営プログラムとなります。日中韓の3カ国・3カ国語の学びを従来通り重視しつつ、さらに、実践的な英語力を身につけることができるコースも新設されます。新プログラムでは、2つの新設コースが追加され、3つのコースで運営されます。新生キャンパスアジア・プログラムを、どうぞお楽しみに！

新プログラムの3つのコース

1. キャンパスアジアコース

中国・韓国に1年ずつ2年間留学するコース。従来のプログラムと同様の方式で実施。

2. アジアグローバルコース（新設）

2年間4学期のうち、3学期は中韓に留学し、1学期は立命館アジア太平洋大学で英語で学ぶコース。キャンパスアジアコース生から選抜します。

3. インテンシブアジアコース（新設）

立命館アジア太平洋大学の学生が、中国・韓国に1学期ずつ1年間留学するコース。キャンパスアジアコースのプログラム生たちと共修します。



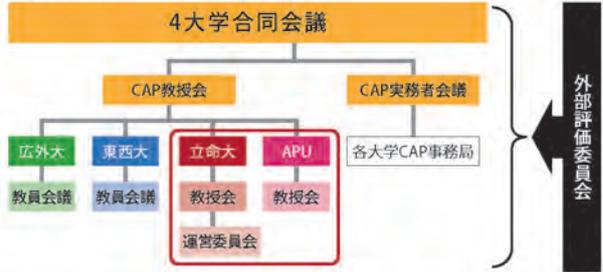
東アジアグローバルリーダー養成のための 日中韓共同運営移動キャンパス



【日中韓移動キャンパス（2年間）】



【運営体制】

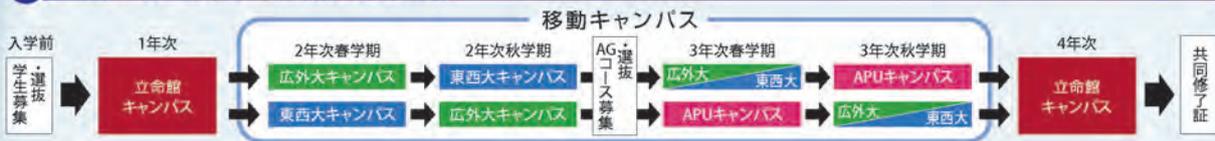


【移動の流れ】

1 キャンパスアジアコース (CAコース)



2 アジアグローバルコース (新設: AGコース)



3 インテンシブアジアコース (新設: IAコース)



学年	RU	APU	広外大	東西大
1年次 春/秋学期	RU A 9名 B 9名	APU A 1名 B 1名	広外大 A 10名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名
2年次 春学期	広外大 A 10名 B 10名		RU A 9名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名
2年次 秋学期	東西大 A 10名 B 10名		APU A 1名 B 9名	RU A 9名 B 10名
3年次 春学期	広外大 A 9名 B 9名	東西大 C 1名 D 1名	RU A 1名 B 2名	APU A 1名 B 10名
3年次 秋学期	東西大 A 9名 B 9名	広外大 D 1名 E 1名	RU A 10名 B 9名	APU A 10名 B 10名
4年次 春/秋学期	RU A 9名 B 9名	APU A 1名 B 1名	広外大 A 10名 B 10名	東西大 A 10名 B 10名

本事業の成果

【人材育成目的】

東アジア グローバルリーダー

- 実践的な中国語・朝鮮語・英語の語学力
- 多文化間調整が可能なコミュニケーション能力と判断力
- 東アジア人文学の専門的知識と分析力

東アジアを中心とする
グローバルな舞台で
実践的に活躍する人材へ



RU CAP生 広外大CAP生 東西大CAP生 APU CAP生

RU=立命館大学、広外大=広島外語外資大学、東西大=東西大、APU=立命館アジア太平洋大学

2021年度のあゆみ

【2021年】

4月5日	立命館プログラム生・履修ガイダンス資料配布 (対象：プログラム6期生)
5月4日	3大学オンライン公開授業開始（～6月2日）
6月11日	臨時4大学（立命・APU・東西大・広東外大）合同会議
6月15日	立命館5期生・6期生オンライン交流会
6月17日	立命館6期生・中韓5期生オンライン交流会
6月19日	韓国・東西大 春学期終了
6月28日	3大学教員会議（オンライン）
7月1日	3大学5期生オンライン交流会 立命館6期生CAP共同研究室ガイダンス 立命館5期生・6期生交流会（対面）
7月12日	秋学期移動キャンパスに係る説明会
7月18日	中国・広東外語外貿大学 春学期終了
7月26日	キャリアセミナー（対象：立命館4期生）
7月27日	沈熙燦先生（韓国・延世大）特別講義「韓国の現在と留学での学び」
8月2日	中国・韓国プログラム生 履修ガイダンス
8月30日・31日	秋学期韓国渡航前ガイダンス
9月1日	韓国・東西大 秋学期開始
9月4日	中国・広東外語外貿大学 秋学期開始
9月9日	秋学期韓国への実渡航（先発組）
9月28日	キャンパスアジア教授会
9月30日	秋学期韓国への実渡航（後発組）
11月8日	立命館プログラム生・2022年度春学期移動キャンパス手続きガイダンス（対象：プログラム6期生）
11月18日	結団式
11月22日	キャンパスアジア日本語科目担当者会議
11月29日	韓日ジュニアフォーラム参加（立命館5期生）
12月3日	韓日フォーラム参加（立命館5期生）
12月20日	韓国・東西大 秋学期終了
12月17日	第1回 4大学教職員合同会議
12月24日	中国・広東外語外貿大学 秋学期終了

【2022年】

1月24日	立命館宇治高校・中韓プログラム生オンライン交流会
1月27日	2022年度春学期韓国渡航前ガイダンス
2月21日	2022年度入学前募集 第1回説明会 中国・広東外語外貿大学 春学期開始
2月25日	2022年度入学前募集 第2回説明会 キャンパスアジア教授会
3月2日	韓国・東西大学校 春学期開始
3月18日	中韓プログラム生科目担当者会議
3月20日	立命館キャンパスアジア・プログラム修了式
3月24日	2022年度入学前募集 面接選考

2021年度 キャンパスアジア・プログラム事業報告集

発行日 2022年3月31日
編集兼発行者 立命館大学文学部 キャンパスアジア・プログラム
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1
<http://www.ritsumeai.ac.jp/campusasia/>
印刷 山代印刷株式会社



CAMPUS ASIA
PROGRAM

CHINA